

「古都・ならまちを散策」 見どころ

| | |
|---------------------|---|
| <p>1. からくりおもちゃ館</p> | <p>ならまちの町家で、昔の子供たちが楽しんだからくりおもちゃを実際に手に取って楽しめる「からくりおもちゃ館」です。</p> <p>からくりおもちゃには、昔の人々の知恵や工夫、技術やアイデアが溢れています。昔の人は、木や竹や和紙・土・糸などの自然素材を組み合わせ、思いがけない動きをする仕掛けを生み出しています。遊ぶと、きっと驚きや発見があるかも！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |
| <p>2. にぎわいの家</p> | <p>奈良町にぎわいの家は、1917年築(築100年を迎えた)の町家(表屋造)です。茶室や15帖もある広い座敷、金箔の貼られた仏間ほか、襖絵や装飾など、その空間構成や意匠は見応えがあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> |
| <p>3. 元興寺</p> | <p>日本最初の本格的伽藍である法興寺(飛鳥寺)が平城遷都にともなって、蘇我氏寺から官大寺に性格を変え、新築移転されたのが、元興寺です。</p> <p>世界文化遺産として元興寺は旧僧坊遺構である国宝極楽堂(本堂)と国宝禅室(禅室)が登録されています。またこの寺は史跡元興寺極楽坊境内という狭い空間の極一部にすぎませんが、東門は重要文化財にも登録されています。</p> <p>かつて平城京の東部外京に、興福寺と南北に接した大伽藍は、たび重なる罹災により姿を消し、この一画は寺に由来する奈良町の町名にかろうじて記録される程度となってしまいました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> |
| <p>4. その他</p> | <p>創祀は800年(延暦19年)に桓武天皇の勅願によると伝えられ、奈良町の中心に位置する御霊神社(開運出世、衣食住、縁結び等にご利益の出世稻荷神社)や鎌倉時代の『沙石集』(1283)で、本尊の石造地藏菩薩が「靈験あらたなる地藏」として取り上げられている十輪院をはじめ、人気のある街並みを散策したいと思います。</p> |